

ボランティアだより

ほのボラ

2020年6月発行 No.81

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0213

京丹波町須知鍋倉1番地1

TEL: 0771-82-0126 (地域福祉課)

FAX: 0771-82-2206

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>

社協キャラクター



傾聴ボランティア



傾聴ボランティアとは、独り暮らし高齢者や高齢者世帯のお家を訪問し、心に寄り添いながら話を聴く活動です。町内には「うさぎの耳」「なかよし会」「虹の会」とそれぞれの地区に傾聴ボランティアグループがあります。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、家を訪問してお話をするという普段の活動が自粛の中、それぞれのグループで電話訪問を実施されました。新しい活動の形で活動者は初めての電話訪問で顔が見えず、不安もあったようですが、ご利用者から「よく電話をかけてくれた。声が聞けて嬉しい」と喜んでもらえ、日頃の活動があったからこそ安心して電話でのお話が出来たようです。

「また来てもらえるのを待っている。」「顔を見せに来てな。待っているから。」と言ってもらい、改めて普段の活動の大切さを感じ、次回は訪問して活動出来る事をお互い待ち望まれています。

音声文字変換アプリ ちょっと便利な情報をご紹介します♪

要約筆記「くさぶえ」の会員さんが今後さらに期待している「音声文字変換アプリ」をご紹介します。スマホやタブレットでアプリを立ち上げ、スマホに話しかけると文字が画面に出てくるという機能です。また、メモ機能もあり画面に書き込むこともできます。誰もが気軽に利用できるアプリなので、聞こえに不自由を感じている方とのコミュニケーションに役立ちます。他にも視覚障害者向けのアプリなど色々なアプリがあり、みんなが上手に活用できれば誰もが便利で暮らしやすくなるのではないのでしょうか。

職員で使ってみました。

今日はいい天気ですね。

今日はいい天気ですね

そうですね

携帯画面

「そうですね」と指で書いてもらいました。

アプリの種類

アイピートーク

	UDトーク		スピーチキャンバス
	こえとら		音声文字変換

※紹介アプリは一例であり、当刻製品だけを推奨しているということではありません。

ボランティアインタビュー 51

暮らしの応援ボランティアコスモス（瑞穂）

布やタオルなどを使ってエプロン・袋などの
手作り介護用品をつくる活動をしています。
定例会…毎月第2・第4月曜日



はたけなか あきこ
畠中 明子さん

Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「もともと手芸などが好きで、家で作ったりしていたのですが、
7年前にケーブルテレビで「コスモス」さんのボランティア
活動紹介の放送を見て、入らせていただきました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

「同じ興味、関心を持つ方に出会え、
いろいろなことを学ばせてもらっています」



Q3 あなたにとってボランティアとは？

「楽しく笑顔で活動が出来ていることが本当に有難く思います。自分の元気の“源”です。」



たつの みちこ
立野 道子さん

ボランティアインタビュー 52

活動 区内や小学生の登下校時の
見守りなど、愛犬の散歩をしながら
活動されています。ゴミが落ちてい
ないか等気にしながら自分の健康
も大切にされています。その他に
も、精力的に活動されています。



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「自分の健康のためにしてるのと、区や道がきれいになってほしいと思い、始めました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

「ボランティアをしていたことで、色々な場面で助けられることが多くありました。
やったことが返ってくるということではありませんが、自分に返ってくるという思いが
あり、続けています。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「【あたりまえ】という思いです。色々な方との助け合いで、挨拶や礼儀をしっかりする事が、
ボランティアに繋がり、関係性が築き上げられると思っています。」

【ご紹介しています団体と一緒に活動してもらえる方を随時募集しています。詳しくは地域福祉課まで】

お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課（榎川・山崎・湊）
丹波支所 ☎82-0126 和知支所 ☎84-1833